

「持続可能な紙利用のためのコンソーシアム」  
設立趣意書

2013年11月19日

紙の利用について先進的な取組みを行う企業とWWF ジャパンは、社会全体での持続可能な紙利用の実現を目指し、それを推進するためのコンソーシアムを設立します。

- 背景  
世界の自然林の減少は、現在も毎年1300万haの速さで進んでおり、特に生物多様性が豊かな熱帯地域で深刻な状況となっています。これらの森林破壊には様々な要因がからみありますが、その一つに、製紙用の原料生産や植林地として利用するための土地開発があります。
- 目的  
紙を生産・供給する側だけではなく、紙を利用する側も含めた社会全体でこの問題を認知し、適切な紙利用を推進します。
- 目標  
各参画企業は、以下の基本的な考え方にに基づき、自らの事業活動に適した責任ある調達方針、行動計画、目標等を策定し、運用を行うことを基本とし、コンソーシアムとしては、2020年までに持続可能な紙利用を実践します。
  - 信頼できる認証制度や再生紙を優先的に利用すること
  - 保護価値の高い地域を破壊していないこと
  - 伐採にあたって原木生産地の法令を守り、適切な手続きで生産されたものであること
  - 重大な環境・社会的問題に関わる事業者の製品ではないこと
- 具体的な活動
  - 持続可能な紙の利用を進めるための情報提供
  - 情報発信や普及啓発活動
  - メンバー間での定期的な情報共有
  - サプライヤーや取引先への取組みの拡大、等

当初は以下のメンバーでスタートしますが、このコンソーシアムの目的に賛同し、責任ある調達方針を定めて活動する企業・団体の参画を歓迎します。

味の素株式会社  
キリンホールディングス株式会社  
JSR株式会社  
ソニー株式会社  
WWF ジャパン  
三井住友信託銀行株式会社  
株式会社レスポンスアビリティ  
(50音順)  
以上